

令和8年度 北九州市立高見中学校 学校経営方針

校訓

感謝
努力
友愛

学校教育目標

教職員の信頼と協力を基調とし
一人一人の生徒に人権の精神を培い
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな生徒の育成を目指す

北九州市教育大綱
「こどもまんなかで質の
高い教育環境」の実現
北九州市こどもまんなか
教育プラン
5つのミッション

目指す学校像

- ① 明るく楽しい学校
- ② 保護者・地域から信頼される学校
- ③ 学習環境の整った学校
- ④ 社会の変化に対応できる力を培う学校

目指す生徒像

- ① 明るく笑顔で、自己の夢を育む生徒
- ② 自分・友人・環境を大切にする生徒
- ③ 自ら学び、粘り強く行動し、やりきる生徒
- ④ 心身を鍛え、たくましく生きる生徒

目指す教職員像

- ① 生徒一人一人のよさや可能性を大切にする、使命感・責任感あふれる教職員
- ② 謙虚な心で学び続け、職能を磨き、人間性を高める教職員
- ③ 保護者、地域との良好な関係を築き、落ち着いた環境づくりに取り組む教職員

重点目標

- 教職員と生徒のウェルビーイングの向上
- 社会の変化に対応できる力を育成する学校づくり
- 「SDGs」の視点「誰一人取り残さない教育」を踏まえた教育活動の推進

目標達成のための方策

確かな学力の向上

主体的に課題
を解決する力
の育成

心の育ちの推進

豊かな人間性
を育てる教育
の推進

健やかな体の育成と 安心・安全な環境

健やかな体をつくる
指導の充実と安心・
安全な環境づくり

連携の充実

地域に根差した
教育・小中一貫
教育の推進

本年度の
キーワード

挑む・続ける・支え合う

令和8年度北九州市立高見中学校学校経営方針

北九州市立高見中学校
校長 若松 英昭

挑む・続ける・支え合う

1. 学校教育目標

教職員の信頼と協力を基調とし一人一人の生徒に人権の精神を培い
知・徳・体の調和のとれた心豊かな生徒の育成を目指す

○目指す学校像

- ①明るく楽しい学校
- ②保護者・地域から信頼される学校
- ③学習環境の整った学校
- ④社会の変化に対応できる力を培う学校

○目指す生徒像

- ①明るく笑顔で、自己の夢を育む生徒
- ②自分・友人・環境を大切にする生徒
- ③自ら学び、粘り強く行動し、やりきる生徒
- ④心身を鍛え、たくましく生きる生徒

○目指す教職員像

- ①生徒一人一人のよさや可能性を大切にする、使命感・責任感あふれる教職員
- ②謙虚な心で学び続け、職能を磨き、人間性を高める教職員
- ③保護者、地域との良好な関係を築き、落ち着いた環境づくりに取り組む教職員

2. 本年度の重点目標

- 教職員と生徒のウェルビーイング (Well-being) の向上
- 社会の変化に対応できる力を育成する学校づくり
- 「SDGs」の視点「誰一人取り残さない教育」を踏まえた教育活動の推進

3. 目標達成のための具体的方策

(1) 確かな学力の向上

主体的に課題を解決していく自立した人間、仲間と協力して知識や情報を活用し、新しい考えを生み出す想像力などを、探究的な学びを通して育成する。

○わかる授業づくりの5つのポイント(めあて・まとめ・振り返り・話し合う活動・書く活動)

を意識した授業、特に、表現する場面の設定と振り返りの充実

○学習評価(3観点)に基づく指導と評価の一体化の着実な推進

○課題を見出し、解決の見通しを立て、調査し、まとめ、発表する。一連の活動を振り返り、次の課題発見へつなげる探究的な学びの実現

○個別最適な学びと協働的な学びの充実のための指導方法の工夫・改善

(これまでの教育実践とGIGA端末の効果的な活用)

○AIアプリの利用と学習支援の充実(図書室を学習室としての利用、ひまわり教室の実施)

○少人数授業やティームティーチングによる配慮が必要な生徒への支援

(2) 心の育ちの推進

自他を大切にす優しい心もち、豊かな人間性を育てる教育の推進

- 「考え、議論する」道徳授業の推進
- ソーシャルスキルの育成等、人間関係づくりを基盤とする学級活動の推進
- 心のバリアフリー推進の取組（視覚特別支援学校との交流）
- 確かな人権感覚を育み、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
- 組織的・機動的・積極的な生徒指導の推進及び相談体制の充実
- 図書館を中心とした読書活動の推進（学年・学級文庫等の整備）
- よりよい環境づくり、教育環境の整備・充実（言語環境にも配慮する）

(3) 健やかな体の育成と安心・安全な環境

健やかな体をつくる指導の充実と安心・安全な環境づくり

- 基本的な生活習慣の定着（規則正しい生活、食事、睡眠）
- 栄養教諭や委員会活動による給食を中心とした食育の推進
- 生徒のかけがえのない命を守る健康・安全・防災教育の推進
（自殺予防教育、心の健康促進、防災訓練、ウイルス感染予防）
- ステップアップルーム（SUR）の全職員での対応
- 危機管理体制の充実による学校事故の未然防止
- 体育授業や部活動、学年行事等を通じた意図的計画的な運動機会と体力向上への取り組み

(4) 連携の充実

地域に根差した教育、小中一貫教育の推進

- 小中一貫教育の推進、教職員交流、児童生徒交流の促進
- 保護者との良好な信頼関係の構築（保護者への適切な連絡や情報発信）
- 地域学校協働活動や関係機関・企業等との連携推進（学校ボランティアや外部人材の活用）
- PTA行事、地域行事への生徒、教職員の参加
- 学校からの積極的な情報発信（学校・学年・学級通信、HPなど）
- 授業参観、授業公開、体育発表会、文化発表会等公開で行う教育活動の充実

4. 学校教育目標の実現のため、大切にしたいこと

- 教職員同士良好なコミュニケーションを心がけ、働きやすい職場環境を整え、学び合い高め合う風通しの良い風土を築く。（毎日が研修・生徒に関する情報の情報共有）
- 危機管理を徹底し、「報告・連絡・相談・確認」や「危機管理のさしすせそ」を実践する。
（最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意を持って、組織で）対応する。
- 事務室、学校支援講師、SSS、SC、SSW、学校図書館職員等との緊密な連携を図る。
- 何事にも協調性をもってあたり、「ONE TEAM 高見」として力を結集する。
- 心身の健康管理に努め、業務改善とワークライフバランスを推進する。
（時間を意識した働き方、個人のタイムマネジメント）
- 教育公務員としての自覚のもと、綱紀粛正に努める。
（TPOをわきまえた身だしなみや服装、現金の適正な管理、守秘義務の遵守、セクハラ・体罰・飲酒運転等の防止他）